

令和2年 5月

絵本

「わたしねこがかいたいの」

・文:ミシェル・ロビンソン

・絵:チンルン・リー

・訳:三原 泉

・出版社:岩崎書店

ねこを飼いたい女の子は、毛糸玉・ミルクを入れたお皿・ダンボール箱・新聞紙など、ねこの好きなものを部屋に集め「さあ、ねこちゃん、あそびにおいで」でも、ねこは一匹も来ません。

がっかりしてねむりについた女の子が目をさますと、そこには数えきれないほどのねこたちが！大喜びの女の子ですが、じつは、そのねこたちは…。

最後は驚きの展開で、とてもあたたかで幸せな気持ちになり、柔らかなタッチの絵で、ねこの可愛らしさが表現されています。

(対象 幼児から)

児童書

「生き抜くチカラ ボクがキミに伝えたい50のことば」

・著者:為末 大

・絵:まつおか たかこ

・出版社:日本図書センター

生きてると子どもも大人も悩みがいっぱい。誰かに相談したい。今悩んでいること、何だかモヤモヤしていることを話してみたい、聞いてほしい。そんな思いを抱えているときこの本を読んでも少し気持ちが楽になるかもしれません。悩みやモヤモヤが少し別の方向に向かうかも知れません。できればいつも手元に置いて、ときどき読み返してみるのにいい本です。

ちなみにホッとした言葉は、長所、短所は単なる「かたより」や、「やればできる！」は成功した人だからいえるセリフ、「自分らしさ」にこだわりすぎないなどなど。あなたはどの言葉に惹かれるのでしょうか。

(対象 小学校低学年から)

一般書

「ザ・ワン・デバイス iPhone という奇跡の“生態系”はいかに誕生したか」

・著者:ブライアン・マーチャント

・訳者:倉田 幸信

・出版社:ダイヤモンド社

誰もが「iPhone を創ったのは、スティーブ・ジョブズ」だと思っていますが、ジョブズの役割は、その誕生までの壮大な物語のほんの一部に過ぎず、開発にまつわる話はアップル社の秘密主義により明らかにされていませんでした。

著者は、関係者への取材により秘密のベールに包まれた開発の過程を辿り、iPhone は驚くほど多くの人々や組織の「発明の集合体」であり、開発には大学やスタートアップ企業、研究所、政府の助成金、さらに原料調達や生産には、ほぼすべての大陸の鉱山労働者、中国を筆頭とする何十万もの工場労働者が関わっていることを明らかにします。

(対象: 一般)